

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所
高野誠紀

総面積：1,522ha(大田区の面積の約1/4、渋谷区とほぼ同じ)
旅客数：7,610万人(国内6,267万人 国際1,343万人)
取扱貨物量：109万トン(国内75万トン 国際34万トン)
年間発着枠：44.7回(1日当たり約1,225回)

※旅客数・貨物量は平成27年度値(空港管理状況調査)

主要施設		
滑走路長(m)×幅(m)	供用	
A 3000×60	S6	
B 2500×60	H11	
C 3360×60	H8	(※H2)
D 2500×60	H2	

エプロン
 H7、3ヶ所存在(224メートル)

主要施設		
滑走路	滑走路長(m)×幅(m)	供用年度
	A 3000×60	S63.7.2
	B 2500×60	H12.3.23
	C 3360×60	H9.3.27
	D 2500×60	(※H26.12.11) H22.10.21
エプロン	H27.3.31現在24スボット	

東京スカイツリー建設現場の空中写真。中央には「国際線ターミナル」があり、その周囲には「B層土留 2,500m」や「A層土留 3,000m」などの土留めが施されています。右側には「国内線ターミナル」があり、その周囲には「C層土留 3,360m」などの土留めが施されています。また、左側には「多摩川」が流れ、右側には「荒川」が流れています。背景には「東京スカイツリー」の塔身が見えます。

【国際線ターミナル】
 長さ: 約250m
 幅: 約60m (2本)
 多摩川

【国内線ターミナル】
 長さ: 約200m
 幅: 約40m
 荒川

【A層土留 3,000m】
 【B層土留 2,500m】
 【C層土留 3,360m】

【基礎部分】
 長さ: 約1,100m、幅: 約250m
 面積: 約652ha
 多摩川の治水性を確保するための橋脚構造、鋼製ジャッキ198基で構成されている。

【橋脚部分】
 橋脚部と埋立部をつくる部分であり、温度変化や地震による相対変位を吸収する伸縮装置を設置。

【埋立部分】
 長さ: 2,020m、幅: 約420m
 面積: 約96ha
 超軟弱地盤に対応した地盤改良を実施。

AP+15.0m
 AP+7.3m
 AP+17.1m
 3,120m
 R27.2.14撮影

平面图

高速脱出誘導路

連結構導路

埋立/機橋接續部

平行誘導路

B滑走路(2500m)

機橋部

埋立部

断面図

水深 12~20m

鋼製ジャケット

AP+15.0m

AP+13.0m

AP+17.1m

鋼管杭 (1= max 90m)

鋼管矢板并間護岸

進入灯橋梁

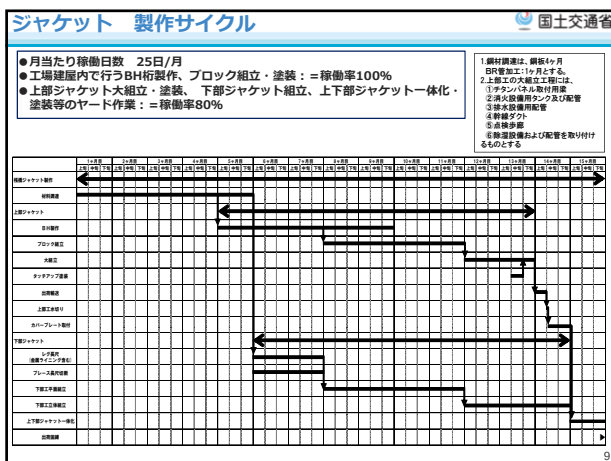
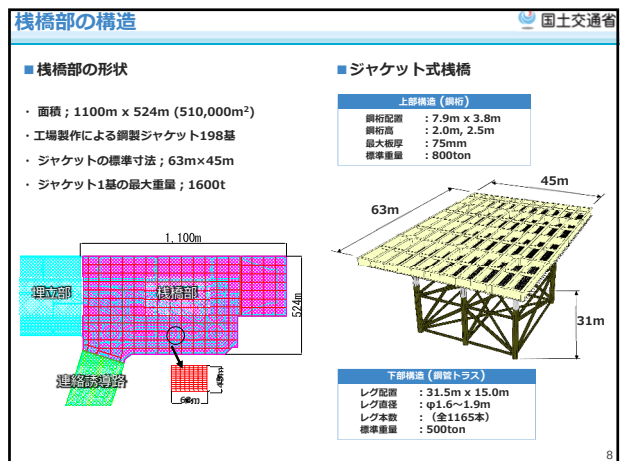
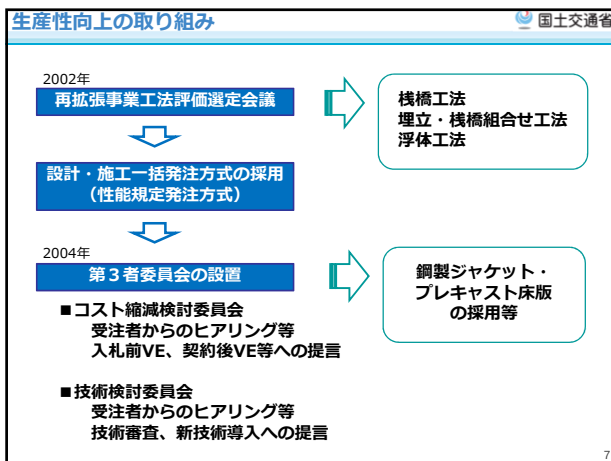
水密面
円錐表面
離陸無障害物表面
進入表面
転移表面
C滑走路
A滑走路
離陸面

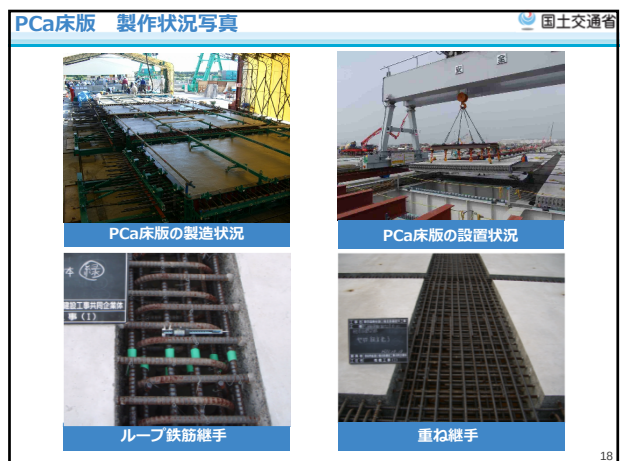
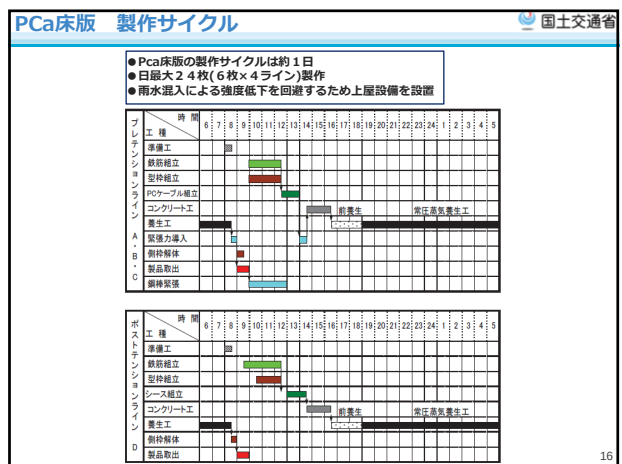
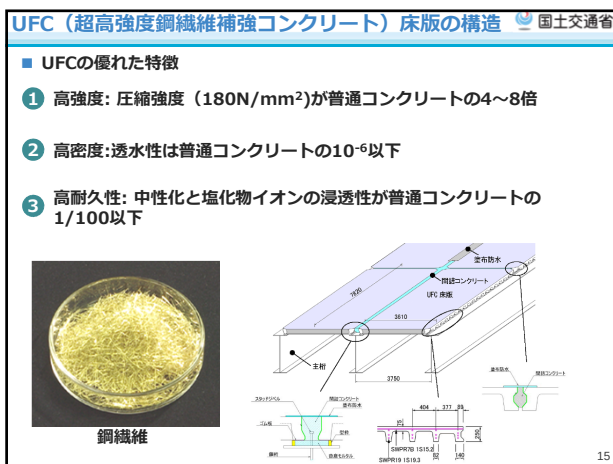
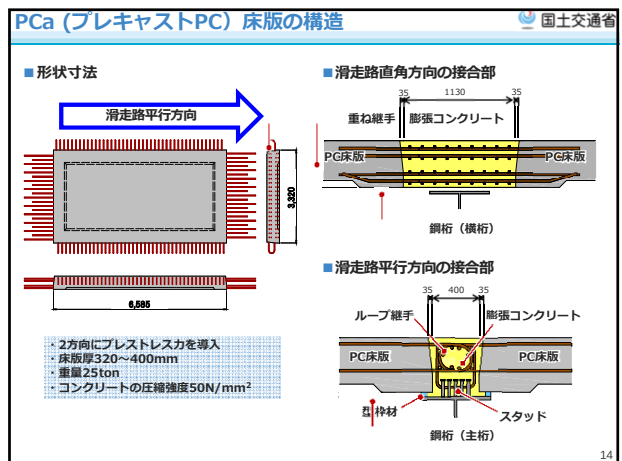
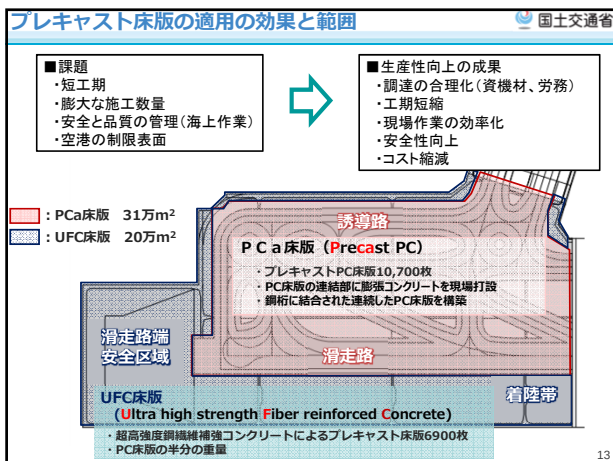
制限高さ 約26m~52m
制限高さ 約36mから52m

船型改良船
TP=50~80m

帆船船
TP=122m

起重機船
TP=131m







19



20



21



22